

■渡辺海旭 僧，仏教学者。浄土宗初の留学生。桁違いの頭脳で，社会事業はじめ，「大正新修大蔵経」刊行など業績も膨大。わたなべかいぎよく

学問のすすめ1872＝ 東京浅草田原町(東京都台東区)で，小間物屋の番頭渡辺啓蔵の長男に生まれる。母はトナ。幼名芳蔵。

明治6年政変 1873＝ 1歳： 妹の誕生後，

佐賀の乱・・・1874＝ 3歳： 早くも，オモチャには関心示さず，一人で浅草寺の境内にでかけて時間を過し始め，

三つの内乱・1876＝ 5歳： 維新後に浅草寺が受けた打撃など小耳にはさんだことから，核心をつく質問をするようになり，

大久保暗殺・1878＝ 7歳： 弟が誕生。家が貧窮して，小学校に入学できず，昼は近所の店を手伝い，無料の府立庶民夜学校に通う。

明治14年政変1881＝ 9歳： 思いあぐねた両親が抜嫡届，

新体詩抄・・・1882＝10歳： 浅草松清町の由緒ある萬照寺の住職に引受けられ，戸田尋常小学校に通う。

成績優秀で，先生たちからも中学進学を期待されるが，萬照寺も苦境に陥っていたため，

帝国大学始・1886＝14歳： 住職が紹介してくれた大橋佐平が開業した{博文館}の小店員となるが，仕事に意義を見いだせず，

国民之友始・1887＝15歳： 萬照寺住職に相談。小石川の浄土宗源覚寺住職端山海定が引受けてくれ，そのもとで得度，海旭の名を与えられ，福田行誠のもとに連れられ強い感銘を受け，面接の上，浄土宗学東京支校高等科入学も認められ，同級の望月信亨・荻原雲来とは生涯の友になる。

初の対等条約1888＝16歳： 導師と慕った福田行誠が死去。

帝国憲法発布1889＝17歳： 望月に継ぐ2位の成績で修了し本校に進学，並はずれた漢文の技量を示し，詩歌自作し壺月と号する。

帝国議会始・1890＝18歳： 浄土宗内地留学生に任命され，比較宗教学を専攻。高島米峰・杉村楚人冠ら同憂の士と出会い，{浄土教報}

大津事件・・・1891＝19歳： 父が死去。

日清戦争始・1894＝22歳： 父が死去。

日清戦争終・1895＝23歳： *成績優秀で総代となって卒業。浄土宗寺院連合第一教校教諭に任命され，{浄土教報}主筆にも起用され，

白馬会・・・1896＝24歳： 浄土宗内地留学生に任命され，比較宗教学を専攻。高島米峰・杉村楚人冠ら同憂の士と出会い，{浄土教報}

子規句歌革新1898＝26歳： 西光寺住職になっていた師海定の隠退で，後を継ぎ，第16世となる。

Bushidou・・・1899＝27歳： 米峰・楚人冠らと{仏教清徒同志会}を発足させその同人となる。

ピアノ国産化・1900＝28歳： 浄土宗最初の海外留学生となり，ドイツに留学。ストラスブルク大学に入学し，ロイマンに師事。

田中正造直訴1901＝29歳： 宗教各派の枠を超える自由思想団に参加。「日想観楼雜感」で社会事業や慈善事業が必要だと述べ，

教科書疑獄・1902＝30歳： ハンブルクの東洋学会に出席，

日比谷公園・1903＝31歳： 「欧米の仏教」。日露戦争に対しては世界的視野から主戦論を展開，

日露戦争始・1904＝32歳： シュヴァイツァーと出会う。パーゼルの世界宗教史学会で論文を発表。

日露戦争終・1905＝33歳： 日本政府が社会主義者を弾圧しているのを知り，姉崎正治宛の書簡で，社会主義の活用を説く。

満鉄発足・・・1906＝34歳： 母が死去。学階・講師に任ぜられる。インフルエンザなどで重篤になったりするも乗り越え，

韓国反日暴動1907＝35歳： 「普賢行願讃」諸本の比較研究で学術博士号。日本では宗会での布教部長任命や師海定死去など帰国催促，

アヲヲ創刊・1908＝36歳： ロンドン世界仏教会に出席するなど，ヨーロッパ各地の大学・研究機関や学会に招かれ講義，

サンスクリット・パーリ語・チベット語をマスターし，比較宗教学や仏教研究を究めて，

韓国併合・・・1910＝38歳： *ついに決意し，帰国。宗教大学・東洋大学教授に迎えられ，{浄土教報}主筆・西光寺住職にも復す。懇請

大逆事件判決1911＝39歳： 深川区平野に宿泊所開設の一方，(連合第一教校の後身)芝中学3代校長に就任，以後没するまで勤める。

明治天皇没・1912＝40歳： 各宗有志と共に{仏教徒社会事業研究会}結成，内務省からの用語侍ったにも抵抗，“社会事業”が定着。

第一次大戦始1914＝42歳： 東京洲崎の大火で，{浄土宗労働共済会}が罹災者の救済に当たり，内務省から奨励金。

21ヶ条要求・1915＝43歳： 各宗有志と共に，{東京仏教護国団}を結成し，理事に就任。

ロシア革命・1917＝45歳： 外聴道に毛嚢炎を生じ切断手術した際，丹毒を併発，心臓と呼吸器障害もおこる。新戒律主義を提唱。

本格政党内閣1918＝46歳： 権僧正に就任。洪沢栄一・頭山滿らと国士館創立。朝鮮人教化施設{明照学園}設立。モンゴル由来の乳酸

べ峠仁条約・1919＝47歳： 菌飲料を開発し名付けて貰おうと来訪した三島海雲の話にのり，“カルピス”と命名し，大ヒット。

大暴落・・・1920＝48歳： 浄土宗東京教区布教団長。この年，ドイツの女性仏教学者が弟子連れて西光寺に来て以降，国際テンプル

原敬首相暗殺1921＝49歳： 化が始まり，仏教関係者だけでなく，のちには列強駐日大使まで来訪，国際梁山泊となって行く。

水平社結成・1922＝50歳： 講演集「大乘仏教の精神」。深川商業学校を設立し校長。門下生の「現代意識仏教聖典叢書」全12巻を監修。

関東大震災・1923＝51歳： *高楠順次郎の「大正新脩大蔵経」発刊発願に共鳴，都監として共に編集を務める。

護憲三派圧勝1924＝52歳： 増上寺教監となり，以後2年早朝日曜講演。震災に芝中学校を開放し罹災者支援に当たるなか，自坊西光寺

治安維持法・1925＝53歳： とともに完成していた「孔雀王経の研究」など書籍・資料等すべてを消失。「大正新脩大蔵経」出版も頓挫，

円本時代始・1926＝54歳： 社会事業功労者として天皇拝謁。日本宗教協会理事。日印協会理事。矢吹慶輝と共に，国際社会事業協会日

金融恐慌・・・1927＝55歳： 本委員に推薦される。西光寺伽藍を再建。大乘女子学院長に就任，財団法人大乘学園で，隣保事業の実践と

共産党事件・1928＝56歳： 指導に当たる。大正新脩大蔵経刊行開始，以後月1巻のペースで刊行続け，

世界恐慌・・・1929＝57歳： 宗教・天台宗・豊山大学関係者をまとめ，三大学を合併させる。増上寺大殿で東亜仏教大会。相馬黒光の娘

海軍軍縮条約1930＝58歳： がボースと結婚してまもなく死去，頭山から頼まれて葬儀の導師をつとめ，以後，黒光の帰依受ける。

満州事変・・・1931＝59歳： 社会事業功労者として宮中招待。{浄土教報社}を去り，同志と共に{教学週報社}を興し代表。*浄土宗の最

五一五事件・1932＝60歳： 高学位勸学，さらに浄土宗執綱に就任。宗教大学改め大正大学教授，同財団理事長となる。仏教連合会常任

国際連盟脱退1933＝61歳： 理事となる。長谷規良信との共著「社会問題と宗教思想」刊行。「寺院の将来」を発表。

金融恐慌・・・1927＝55歳： 仏教少年連合団長。交通協会理事。

共産党事件・1928＝56歳： 巢鴨家政女学校長。大阪の上宮中学校理事長。昭和天皇即位の大典に招かれ，勲六等瑞宝章を受章。少年信

世界恐慌・・・1929＝57歳： 愛会名誉会長，慈光学園顧問及び明倫裁縫女学校長，仏教音楽協会理事。「国訳一切経」全255巻の監修，

海軍軍縮条約1930＝58歳： 朝鮮臨時巡教使会を開く。日本禁酒同盟理事。大谷大学教授森川智徳と共に，東西の仏教関係大学教授を中心

満州事変・・・1931＝59歳： とする日本仏教学協会(のちの日本仏教学会)を結成し，理事。

五一五事件・1932＝60歳： 宮中拝賀に参内。日独仏教協会理事。岩淵家政女学校長。

国際連盟脱退1933＝61歳： 巢鴨女子商業学校開設，学長に就任。神仏基三教と共に，日本宗教大会を主催。東京仏教倶楽部理事。

金融恐慌・・・1927＝55歳： 浄土宗執綱退任。インドの大菩提会による大仏堂の壁画揮毫依頼受け，後援代表となり，野生司雪香画伯に

共産党事件・1928＝56歳： 嘱して渡印。仏教研究所所長。「孔雀王経の研究」「原始密教の成立に就て」発表。満州国鏡泊学園初代総長

世界恐慌・・・1929＝57歳： 。「大正新修大蔵経」全85巻・索引「昭和法宝総目録」2冊を完了するが，インフルエンザに罹り，

海軍軍縮条約1930＝58歳： *朝日賞受賞後，病をおして芝中学校四方拝に列席，式の途中で倒れ，敗血症で没した。

満州事変・・・1931＝59歳： 「壺月全集」全2巻・「壺月余影」。